

第8期 介護保険事業計画 ～施設整備計画～

1 整備にあたっての基本的な考え方

- 国の「第8期介護保険事業計画の基本指針」を踏まえながら、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる令和7(2025)年、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22(2040)年を見据え、地域包括システム構築のための取り組みを推進する。
- 今後の高齢化の推移、市民ニーズ、待機者の状況、既存施設の整備状況等を踏まえながら、給付と負担のバランスにも留意し、整備量を設定する。
- 高齢者が要介護状態等となっても、住み慣れた地域で生活を継続できるよう、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)などの地域密着型サービスを整備する。

2 整備目標設定に係る状況

(1) 高齢化等の状況

- 65歳以上の高齢者数は、今後減少していくが、75歳以上の人口は増加し、R7(2025)年には、全人口に占める割合が、18.9%となる見込み。
- 高齢者人口はR3(2021)年度に、要介護認定者数はR17(2035)年頃に、ピークの見込み。

(2) 待機者の状況(特別養護老人ホーム)

- 計画策定年度に実施している「特別養護老人ホームの入所受入れ等に係る調査」の結果、待機者数は、H29年3月末2,220人→R2年3月末2,606人

(3) 市民のニーズ

- 介護が必要となった場合、「ずっと在宅で生活したい」が、約48%、「施設又は高齢者向け賃貸住宅等で生活したい」が、約39%と回答している。(高齢者等実態調査より)

(4) 既存施設の整備状況

※開設予定分を含む

種別	H29年度末	R2年度末	増減
(1)特別養護老人ホーム【地域密着型特養を含む】	5,461床	5,574床	113床
(2)認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	2,280床	2,352床	72床
(3)介護老人保健施設	2,970床	2,840床	▲130床
(4)介護医療院	0	479床	479床
(5)特定施設入居者生活介護	3,082床	3,082床	0
(6)養護老人ホーム、生活支援ハウス 軽費老人ホーム	1,736床	1,736床	0
(7)地域密着型サービス(施設・居住系除く)	104か所	108か所	4か所
① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9か所	14か所	5か所
② 小規模多機能型居宅介護	51か所	50か所	▲1か所
③ 看護小規模多機能型居宅介護	3か所	3か所	0
④ 認知症対応型通所介護	41か所	41か所	0

〈有料老人ホーム等の状況〉

種別	H29年7月	R2年7月	増減
(1)住宅型有料老人ホーム	4,188床	4,852床	664床
(2)サービス付き高齢者向け住宅	1,192床	1,399床	207床

※サービス付き高齢者向け住宅は有料老人ホームに該当する開設済み分

3 サービス毎の整備について

(1) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) ※地域密着型特養含む

- 市民のニーズや今後の高齢化の状況等を踏まえ、介護老人福祉施設の整備を推進する。
- 整備にあたっては新設、増床など様々な整備手法を検討する。
- 整備量…113床

(2) 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)

- 今後の認知症高齢者の増加や市民ニーズ等を考慮し、認知症対応型共同生活介護の整備を推進する。
- 整備にあたっては、1事業所2ユニット(定員18名)を基本として、新設、増床などの手法を検討する。
- 整備量…54床

(3) 介護老人保健施設

- これまでの整備により利用率が安定しているため、現在の定員数を維持する。

(4) 介護医療院

- 長期療養のための医療と日常生活の世話(介護)を一体的に提供する施設で、介護療養型医療施設からの転換先として想定されている。
- 介護療養型医療施設は令和6年3月末で廃止が予定されているため、介護医療院等への転換を進める。

(5) 特定施設入居者生活介護(介護専用型・混合型) ※地域密着型を含む

- 特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)は、今後の高齢化の状況等を踏まえ、地域密着型特定施設入居者生活介護の整備を推進する。
- 整備にあたっては、新設での手法を検討する。
- 整備量…87床

(6) 養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス

- 養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウスの利用率は安定しているため、現在の定員数を維持する。

(7) 地域密着型サービス(施設・居住系を除く)

○ 要介護状態等となっても住み慣れた地域で継続して暮らせるよう、以下の地域密着型サービスの整備を推進する。

① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

- ・ 日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が連携しながら、定期的巡回訪問と随時の対応を実施。
- ・ 整備量…2事業所

② 小規模多機能型居宅介護

- ・ 「通い」を中心に、必要な「宿泊」、「訪問」を組み合わせ、24時間365日、在宅生活を総合的に支援。
- ・ 整備量…2事業所

③ 看護小規模多機能型居宅介護

- ・ 小規模多機能型居宅介護に、必要に応じて訪問看護を組み合わせ、医療ニーズの高い方を支援。
- ・ 整備量…2事業所

④ 認知症対応型通所介護(認知症対応型デイサービス)

- ・ 認知症高齢者に日常生活上の支援や機能訓練を提供。
- ・ 整備量…3事業所

【参考】

第7期施設整備状況及び第8期整備目標

	第7期 (H30～R2)			第8期 (R3～R5)
	第7期 整備目標 (増加量)	第7期 実績 (増加量)	R2年度末 整備数(予定)	第8期 整備目標 (増加量)
介護老人福祉施設 【特別養護老人ホーム】	174 床	113 床	5,574 床	113 床
広域型 【30床以上】	174 床	84 床	4,933 床	84 人
地域密着型 【29床以下】		29 床	641 床	29 人
認知症対応型共同生活介護 【グループホーム】	90 床	72 床	2,352 床	54 床
特定施設入居者生活介護	0 床	0 床	3,082 床	0 床
地域密着型特定施設入居者 生活介護【29床以下】	0 床	0 床	0 床	87 床
施設・居住系 合計	264 床	203 床	11,008 床	254 床
地域密着型サービス (施設・居住系以外)	11 か所	4 か所	108 か所	9 か所

※R2年度末整備数は選定分を含む